

三原市市議会議員

正田洋一 議員レポート

第15号



本当にありがとうございました

4月実施の選挙におきまして、1909票のたくさんの皆様の支援により、2期目の当選をさせていただくことができました。

これも皆様の暖かいご支援のおかげです。ありがとうございました。

2期目の4年間も市議会議員の本来の役割である市政のチェッカーとして、また、市民の皆様の課題解決にひたむきに向き合っていきます。

また、明るく楽しく暮らせる街。将来の三原をつくる一人の担い手として、政治活動のみならず、一人の市民として、中小企業の経営者として、頑張っていきます。

引き続き、皆様のご指導ご支援をよろしくお願いいたします。

また、レポートによる報告は今後も続けて行くこととお約束します。

議会人事について

改選が行われましたので新たな議会人事が行われました。
新たな会派が結成され、議員構成も変わりました。

会派構成

公明党	児玉議員(代表)、高原議員、萩議員
民政クラブ	七川議員(代表)、木村議員、徳重議員
新風会	政平議員(代表)、田中議員、宮垣議員、新元議員、仁ノ岡議員
市民連合	分野議員(代表)、亀山議員、高木議員、中重議員
創志会	陶議員(代表)、杉谷議員、平本議員、岡議員、伊藤議員、加村議員
志成会	正田(代表)、岡本議員、梅本議員
無所属	安藤議員、寺田議員

私は今回、会派代表者となりました。私の会派は、前議長の梅本秀明議員および元副議長の岡本純祥議員と私の3人です。

まず、私の人事からですが、総務財務委員長になりました。

委員会構成

総務財務委員会	正田(委員長)、平本議員(副委員長)、高原議員、杉谷議員、安藤議員、政平議員、高木議員、中重議員、七川議員
厚生文教委員会	岡議員(委員長)、萩議員(副委員長)、木村議員、宮垣議員、亀山議員、加村議員、岡本議員、寺田議員
経済建設委員会	新元議員(委員長)、児玉議員(副委員長)、田中議員、徳重議員、伊藤議員、陶議員、梅本議員、分野議員
議会運営委員会	政平議員(委員長)、陶議員(副委員長)、正田、児玉議員、新元議員、加村議員、分野議員、七川議員

常任委員会の委員長は、私、自ら望んでなったものです。1期目は4年間、総務財務委員会に所属していました。4年目には副委員長もさせていただきます。

市の財政、街づくり、特に公共施設マネジメント、新たな公共投資を重点的に委員会の中でチェックしていきたいと考えています。

議会運営は異常事態？

次に残念だったことを書きます。

市長選挙のしこりか、改選後、市長に近い勢力とそうでない勢力(市民連合、志成会、無所属)に分かれました。

ちなみに私は、市長をチェックする市議会議員という立場を考えて、市長選挙においては、どちらの候補も支援をしておりますが、反市長勢力と分類されたようです。

これが、この度の全ての議会人事の決定に意味を示すものとなりました。

市長に近い勢力は、選挙後、17名が市長室に集まり、今後との市政運営について協議をしたと藝陽日々新聞に掲載されていました。

私はそうでない勢力であるため、市長室での会合には参加していません。

私の懸念ですが、二元代表制において、市長と議員の近すぎる関係は、癒着や馴れ合いを生む最大の要因となります。

その布石ともいえる議会人事が、17名によって、行われました。

議長選挙は、仁ノ岡議員と岡本議員の決戦となり、17対8での決着となりました。1は白票です。副議長選挙も同様、伊藤議員と中重議員の決戦となり、17対8での決着となりました。1は白票です。副議長がポストも会派間の取引か。今回の選挙で最高得票にて当選され、4期目を迎える中重議員ではなく、委員長経験がない2期目の伊藤議員が副議長に選出されました。

監査委員については、選挙ではなく、話し合いとなり、七川議員と中重議員の2人を候補に絞り、話し合いは深夜に及びました。私および分野議員が、監査委員の役割と構成を考えると問題があると譲らなかつたため、仁ノ岡議長裁定となり、七川議員となりました。

監査委員については、民間からの2名(名前は書きません)について、市長に近い市議会議員候補の選挙応援した事実が指摘され、監査委員が選挙応援することは望ましくないことと、市長に近い人材が、監査委員ではチェック機能が働かないので、ふさわしくないとの指摘がされましたが、これも議会が、多数決17対9で押し切って任命をしました。

これで、三原市の監査委員の民間2名、議員1名は、すべて市長に近い人が任命されるという事態となり、監査という意味での機能するのかわからない状態になってしまったことは、大変申し訳なく思います。この付近は、多数決で負けたとはいえ、今後も注視していきます。

また、新人5人全てが17人の側に入ってしまったことも大変残念な出来事です。

ポストは、総務財務委員長を除き、17名から選出され、議会運営を行うという事態となりました。総務財務委員長において、私が自ら名乗り出た理由にそれを阻止したい思惑があったからです。

私が申し出なければ、現在の副委員長がなる方向で話が進められていました。

そもそも議会は、少数民意を含めて、市民の声を反映する場です。市長と議員17名で牛耳るといった議会運営には厳しく臨みます。また、事実を公開、指摘することで、可能な限り暴走を防いでいきたいと考えています。

また、広域市町村圏事務組合の議員になりました。広域市町村圏事務組合とは、世羅町と三原市とで共同で行う事務組合の議会です。三原市議から6人、世羅町議から3人が選出される議会です。ここでは、問題となっている不燃物処理工場での問題がありますので、ここの議員にも申し出てやらせていただくこととしました。

一般質問

●倒壊危険空き家の対策について

Q：倒壊危険空き家について、過去3回一般質問を行った。私が着目している点は、倒壊危険空き家の除却である。この度、長年懸案であった港町地区のある危険空き家が、特定空き家の第一号の判定をされ、対処を急ぐと聞いた。現在、実施計画の策定中で実施は来年からと聞いていたが、直ちに危険なものについては、思ったより比較的早く着手するのは良いと思う。そこで、倒壊危険空き家の直ちに危険なものいわゆる重度2に該当する建物の数及びスケジュールについて聞く。市民周知についても提示を求める。

A：27、28年度に実態調査を行った。放置すると危険な空き家重度2は、市内で35棟、多い順に東町10棟、本町5棟、西宮4棟、大和4棟になっている。重度2を優先して判定を行い、助言、指導、勧告を積極的に実施する。今年度は10棟除却することを目標とする。

市民周知については、7月にパブリックコメントを募集した上で、9月に公表を予定し、ホームページ、フェイスブックなどで告知する。



Q：町内会向けの空き家ツアー、市政報告会などの活用はどうか。

A：町内会との連携は既に行っている。空き家の状況は刻々と変化しており、町内会にお願いしないと把握出来ない情報もある。今後とも、もっと情報交換を密にして取り組む。市政報告会での周知についても検討する。

●保育料減免措置の検討について

Q：多子世帯の方々との対話から三原市は保育料が、周辺他市よりも負担が大きいのではないかとの指摘をもらった。国の制度においては、ある程度しっかりとした制度はあるが、三原市は独自の減免策を実施していない。また、国の方でも第三子をカウントする際の第一子の年齢を段階的に引き上げるという検討がされているが、周辺市町においては、独自に所得・年齢を設けずに第三子を無料にしている市と第一子のカウント方法に独自考え方を導入している市がある。

独自施策は、市が負担しなくてはならない財源の問題があり検討しないというのが今までの三原市の姿勢だが、例えば、公共施設の削減の前倒しであるとか、祭りなどの補助金の削減であるとか、新たな公共施設設置の予算を削減すれば、実現可能な財源が確保できる。シミュレーションをし、削減額から可能な支援策について、市民の皆様へ提示してみてもどうか。東京都知事がメリハリ予算という予算の提示をしたが、三原市も何かを削減し、何か（子育て支援策）が実施できるという施策の提示方法をとってはどうか。



三原市 子育てMyBook

平成28年度 発行版

保育所【施設 052-63 保健課ガイドマップ 参照】

子育て支援課 052-648-617-6042

保育料が毎月の仕事や納税などのために、家庭で保育ができな10歳から就学前の子どもを、保護者に預けて保育します。

保育料 12歳未満 12,000円（1名保育料の3倍）
3歳未満 0円-30,000円（1名保育料の1/2）
3歳以上12歳未満 12,000円（1名保育料の1/2）

◎保育園一歳（私立）

保育園名	保育料	施設	定員	保育時間	保育時間	保育料
三原市立第一保育園	1歳-12歳未満 6名	2648-42-1505	180	8時30分-17時	7:30-18:00	7300
三原市立第二保育園	1歳-12歳未満 6名	2648-42-2107	45	8時30分-17時	7:30-18:00	7300
三原市立第三保育園	1歳-12歳未満 6名	2648-42-2107	45	8時30分-17時	7:30-18:00	7300
三原市立第四保育園	1歳-12歳未満 6名	2648-42-2107	45	8時30分-17時	7:30-18:00	7300
三原市立第五保育園	1歳-12歳未満 6名	2648-42-2107	45	8時30分-17時	7:30-18:00	7300
三原市立第六保育園	1歳-12歳未満 6名	2648-42-2107	45	8時30分-17時	7:30-18:00	7300
三原市立第七保育園	1歳-12歳未満 6名	2648-42-2107	45	8時30分-17時	7:30-18:00	7300
三原市立第八保育園	1歳-12歳未満 6名	2648-42-2107	45	8時30分-17時	7:30-18:00	7300
三原市立第九保育園	1歳-12歳未満 6名	2648-42-2107	45	8時30分-17時	7:30-18:00	7300
三原市立第十保育園	1歳-12歳未満 6名	2648-42-2107	45	8時30分-17時	7:30-18:00	7300

◎保育園一歳（私立）

保育園名	保育料	施設	定員	保育時間	保育時間	保育料
三原市立第一保育園	1歳-12歳未満 6名	2648-42-1505	180	8時30分-17時	7:30-18:00	7300
三原市立第二保育園	1歳-12歳未満 6名	2648-42-2107	45	8時30分-17時	7:30-18:00	7300
三原市立第三保育園	1歳-12歳未満 6名	2648-42-2107	45	8時30分-17時	7:30-18:00	7300
三原市立第四保育園	1歳-12歳未満 6名	2648-42-2107	45	8時30分-17時	7:30-18:00	7300
三原市立第五保育園	1歳-12歳未満 6名	2648-42-2107	45	8時30分-17時	7:30-18:00	7300
三原市立第六保育園	1歳-12歳未満 6名	2648-42-2107	45	8時30分-17時	7:30-18:00	7300
三原市立第七保育園	1歳-12歳未満 6名	2648-42-2107	45	8時30分-17時	7:30-18:00	7300
三原市立第八保育園	1歳-12歳未満 6名	2648-42-2107	45	8時30分-17時	7:30-18:00	7300
三原市立第九保育園	1歳-12歳未満 6名	2648-42-2107	45	8時30分-17時	7:30-18:00	7300
三原市立第十保育園	1歳-12歳未満 6名	2648-42-2107	45	8時30分-17時	7:30-18:00	7300

◎地域型保育園

保育園名	保育料	施設	定員	保育時間	保育時間	保育料
三原市立第一保育園	1歳-12歳未満 6名	2648-42-1505	180	8時30分-17時	7:30-18:00	7300
三原市立第二保育園	1歳-12歳未満 6名	2648-42-2107	45	8時30分-17時	7:30-18:00	7300
三原市立第三保育園	1歳-12歳未満 6名	2648-42-2107	45	8時30分-17時	7:30-18:00	7300
三原市立第四保育園	1歳-12歳未満 6名	2648-42-2107	45	8時30分-17時	7:30-18:00	7300
三原市立第五保育園	1歳-12歳未満 6名	2648-42-2107	45	8時30分-17時	7:30-18:00	7300
三原市立第六保育園	1歳-12歳未満 6名	2648-42-2107	45	8時30分-17時	7:30-18:00	7300
三原市立第七保育園	1歳-12歳未満 6名	2648-42-2107	45	8時30分-17時	7:30-18:00	7300
三原市立第八保育園	1歳-12歳未満 6名	2648-42-2107	45	8時30分-17時	7:30-18:00	7300
三原市立第九保育園	1歳-12歳未満 6名	2648-42-2107	45	8時30分-17時	7:30-18:00	7300
三原市立第十保育園	1歳-12歳未満 6名	2648-42-2107	45	8時30分-17時	7:30-18:00	7300

A：多子軽減の国の基準から説明すると、小学校入学前の子どもが3人以上いる場合第二子が半額、第三子が無料。その後、第一子が小学校に入学した場合、第二子が第一子となり、半額から軽減なし、第三子が第二子にカウントされ無料から半額になる。

周辺市町の比較から東広島市、尾道市、世羅町は国の基準で三原市と同じである。竹原市は、第一子のカウントが18歳まで引き上げ、第3子の保育料を3歳以上で2500円減免、3歳未満を無料とする独自施策を行っている。

他市で実施している保育料軽減措置を本市でも実施できないかについては、人口の少ない市町村では影響額が少ないので実施している地域もあるが、本市では財源の確保が困難なことから実施に踏み切れない状況である。

社会保障は、一度実施すれば、途中でやめることが難しいため、取り組みの成果と財源負担を慎重に検討する必要がある。

事業を廃止し、その財源をもって保育料軽減措置を実施するためには、事業内容や関係者への影響額を考慮して、相当な時間が必要と考える。

Q：時間がかかるというのも慎重な検討を要するのでも理解している。ただ、子育て支援は総合戦略の柱だと言われている。財政の視点を持ち出したのは、本件の問題提起を通じて、単純な保健福祉部の範疇での財政問題だけでなく、市全体の施策として戦略と財政という視点で検討して欲しい。また、他市の追随じゃなくてシミュレーションを通じて何処までならできるのかを提示して欲しいのである。

A：地域活性化や人口拡大のために、子育て支援が重要であることは同じ認識である。総合戦略の柱と位置付けて今後取り組んでいく課題である。保育料軽減措置は当然やればよいことはわかっている。第三子以降養育支援事業として、引き続き検討をしていく。



●ふるさと納税型のクラウドファンディングの検討について

Q：先日、三原市の1つの小学校も対象になっていた広島県の廃校リノベーション事業において、クラウドファンディングにふるさと納税の税制優遇措置をとられて、資金調達に成功した事例があった。湯崎知事が先頭に立てられてPRされたことも大きいと思うが、街づくりの資金、遺跡修復、街並み保存、商品開発などのツールとして、三原市もその制度設計に取り組んだらどうか。

A：事業実施に係わる問題点が多数ある。市は寄付受納者として寄付者に説明責任を果たす必要がある。内容が目的、事業の進捗についても明確な基準を整備する必要がある。寄付額が目標に達しなかった場合、一般財源からの充当が必要となる可能性があるなど検討する課題がある、課題の整理とともに調査研究を進める。

Q：広島県、知事も推進しておられるので、調査研究といわず、お聞きして制度設計だけは準備したらどうか。

A：県の成功事例も踏まえ前向きに検討する。

補正予算に反対した理由

6月議会の補正予算を反対致しました。

それは、駅前東館跡地への債務負担行為予算が上程されていたからです。これは、図書館と広場(500㎡)と民間が提案する施設でプロポーザルが行われるための予算手続きです。

私は当初から、この提案には反対の立場で議論してきました。しかし、委員会では反対多数とはならず、予算が上程されるという結果となりました。もちろん最後は多数決ですから決定には従いますが、このまま駅前図書館と広場(500㎡)と民間が提案する施設が進められることは納得できません。機会は少ないですが、駅前東館跡地活用特別委員会も設置されましたのでその中でも議論していきます。

私の反対理由は、数点あります。公共施設と民間施設による開発については、反対ではありません。但し、西館を含めて、公共施設の選択と集中、端的に言えば既存施設をスクラップして集約すること。せっかくイベントが育ってきたのに、500㎡にして、既存のイベントを殺さないこと。現在50年後の未来を創造するランドデザインを作成中であり、ランドデザインにあった提案をし、議論することを引き続き求めます。この議案の賛否は、議会発行の議会だよりに掲載されます。私の感覚では、やはり議会運営が雑です。17名の多数派で、市長の提案のOK議会となり、少数意見にも耳をかたむける気もないと感じます。機会は少ないですが引き続き議論していきます。

ココに注目!

Yoichi column

こだわりをいわせてください!

私個人の思いをここに書かせていただきます。
是非ご意見、ご指導ください。

ヤッサ祭りにDisneyは必要か？

この話題を取り上げますが、開催されることについて異議を申し上げるつもりはありません。関係者の皆様の取り組みには敬意を表します。コラムを書いた目的は、少し皆様に問題提起をして、議論をして考えていただきたいと思いますと考えました。

今年のヤッサ祭りには、Disneyがやってきます。これはRCCからの提案を三原市(築城450年事業推進室)が受け、協議会が採択したものです。費用は、来てもらうのに約170万円、警備に約320万円、合計約500万円がかかります。これは、三原市からの補助で成り立っています。

私が感じたのは、ヤッサ祭りにDisneyを呼ぶと大きな集客効果はあるが、コンテンツが強すぎて、ヤッサ祭りの踊り本来の「踊ること」、「踊りを見せること」の意義が薄れてしまう。ヤッサとDisneyにゆかりがあるならまだしも、三原城築城450年ともあまり親和性も見いだせない。逆にDisneyパレードは、尾道市でも過去2回実施されたように、三原市じゃなくてもできるイベントである。それに市からの補助金500万円をつぎ込んで、やるべきものか疑問を感じました。同様な感じをもたれた方も多いと思います。

しかし、私がこの考えをいろんなところで、市民の方の前で話題にしてみましたところ、子育て世代の方々や市内でイベントを実施されている方々からは、今年は、築城450年の節目の年であり、ヤッサ祭りが、Disneyと相乗効果で集客できるのは大変期待している。また、ヤッサ祭りが、子ども達にとっては、いい思い出になるのではないかとの意見もありました。

私は、財政や築城450年事業の意義や祭りの個性という面で考えておりましたが、あらためて多様な意見があることを感じました。

皆様はどのようにお感じになりますか？ぜひ、友達や家族で議論してみてください。

このイベントは採択されおり、実施されます。いろんな感じ方はあると思いますが、実際に現場を見てみて今後の参考にしたいと思います。

ここが議会の**チェック機能**の正念場

最初に私は、事案に対してまっすぐ真実の追及を求めています。

✓ 不燃物処理工場問題について

不燃物処理工場の件、新聞紙上でもすでに話題となっている件について整理します。

この問題の概要を簡単に説明します。まず、不燃物処理工場は、久井にあり、三原市と世羅町の三原広域市町村圏事務組合で運営されています。三原広域市町村圏事務組合は、管理者が三原市長、副管理者が世羅町長、事務局長は、三原市の総務企画部長、工場長が、三原市の生活環境部長で実質的には三原市が運営をしているようなものです。

この不燃物処理工場において、不燃物として収集されたアルミ缶が、プレス前に工場内で計量した重量と、プレス後にアルミ缶の引き取り業者が持ち帰った後、業者が計量して申告された重量に25%の異常な差異が発生した事です。

ちなみにアルミ缶以外のスチール缶などは、その計量誤差は約1%程度。アルミ缶だけが、異常な差異があり、問題となりました。そして、アルミ缶の引き取り業者は、入札で決まるのですが、市長の親族企業だったことから、選挙戦においても大きな話題となりました。

まず、この問題について、私は、25%の異常な差異を広域市町村圏事務組合と三原市に原因究明を求めています。

調査の事実が確定しない段階で、市長の親族企業に対するバッシングや追及は良いとは思っておりません。

現在、私が問題にしているのは、管理者としての三原市長、運営者としての三原広域市町村圏事務組合に、市民に対する事案の説明と徹底調査を求めています。

それが積極的に行われるどころか？調べてもわからなかったという結論が報告され、継続調査といいながら、一向に調査が進まない現状を打開すべく動いています。

次に、議会の動きといえば、三原広域市町村圏事務組合議会および三原市議会において議員全員協議会がありました。質疑において、徹底調査を臨む9人の議員、そうでない議員は17人に別れました。議事録を見ていただければわかります。発言をした議員は、ほとんどが9人です。この17人は、議長選挙の票数と同じ数です。

この問題を、天満市政への抵抗勢力の暴走という議員もいるようですが、私たち議員は、是々非々、いいものはいい、悪いものは悪いというのが役割です。

この件について、25%の差異の事実は変えようもない事実です。なぜ、17人の議員は疑惑解明に積極的でないのでしょうか。議会チェックの正念場といえます。

私が、三原広域市町村圏事務組合および三原市議会においてした、3点の質問について次に示します。



✓ 市長が選挙でこの事実を第三者にて調査中と言ったことについて

Q：市長は市長選挙において、この事実について第三者に調査させていると
いったが、調査の実態がなかったたことをどう説明するか。

A：選挙中に誹謗中傷をされたので警察に相談した。

Q：警察は第三者期間じゃない。誹謗中傷は誰にされたのか知らないが、誹謗中
傷はそもそも民事で解決されたらよいのではないか。質問の答えになっていない。

A：選挙期間中に警察に相談した。

Q：じゃあいつ相談したのか？本件を警察に相談したのは、5月と聞いている。
選挙は4月だと思うが。

A：選挙の誹謗中傷について、選挙期間中に個人的に後援会の方を通じて4月に警
察に相談した。本件を警察に相談したのは5月だ。

✓ 本件を告訴・告発して警察捜査に委ねるべきについて

Q：広域市町村圏事務組合の内部調査で原因がわからないため、この問題を警
察に相談ではなく、警察へ告訴、告発するべきとかんがえるがどうか。

A：現在、警察に相談しているので、その結果をまって決める。いまのところ、窃
盗が詐欺か、罪状がわからない。

Q：罪状は併記でもだせると聞いているが、なぜ出すことを拒むのか。

A：拒んではない。警察と相談しており、準備が出来次第出す。

Q：ではいつまでにだすのか？

A：ここでは約束できない。

✓ 管理者としての責任について

Q：市長は、広域市町村圏事務組合の管理者としての責任をどう考えるのか。

A：反省すべきは反省して今後、管理体制をあらためる。具体的には、鍵の管理の
見直しや監視カメラの設置を行う。委託業者が鍵を何本も持っていることや敷地の
一部が市の土地ではない借地であることなどの問題がある。

※後日分かったことだが、委託業者は鍵を1本しか持っていない、従って答弁は嘘
である。

Q：委託業者に責任をなすりつける発言はおかしい。管理しているのは広域市
町村圏事務組合だが、適切に委託業者の管理ができていないとすれば、管理す
る側に問題があるということだと思うがどうか。

A：委託業者がここに長く係わっている。私はここを新しく建て替えて、競争入札
にしたいと言っている。

Q：話の論点がずれている。競争入札の話は、この問題の議論には関係ない。
不正が起こったから建て替えるという議論はおかしい。建て替えの議論につい
ては、財源と時期、投資の妥当性を審査していないからである。競争入札の議
論もまだ審議もしていないのに賛成も反対もない。なぜ建て替えにこだわるの
か。疑惑が解明するのが先ではないか。

A：有利な特例債を活用できるうちに建て替えをおこないたい。そのためには急ぐ
必要がある。

読んでいただくとわかるようにやりとりが成立しません。

ただ、この議論で疑念が浮かぶのは、なんとしても建て替えをして競争入札をしたいと思っているようです。

なお、私が反対しているのは、財源の問題が一番、また25億円程度の投資なのに、建設費の妥当性の議論もされぬまま、突然、議員全員協議会で説明し、当初予算に調査費用を盛り込んで、可決したからである。

■補足

委託業者とはこの施設の運営の委託を受けている業者です。市長の親族企業は、この不燃物処理工場からアルミ缶を引き取りにくる業者です。

✓これから

これからの展開については、現在協議中ですが、このまま警察の調査が進めばそれでよいと考えていますが、現在、そのように動いておりません。いつまでたっても相談中です。

9月議会を前に世羅町議会とも連携し、三原市および広域市町村圏事務組合から告訴、告発で進むことを考えています。

一方で繰り返しになりますが、私は、市の責任者である市長に、原因究明をもとめているのであって、現段階で市長の親族企業に対する追及の立場はとっていません。また、7月26日に天満商事が会見し、独自調査の結果過少申告は行っていないと報告されました。逆にこの疑惑の原因を究明して、市長の親族企業に対する疑念を晴らしていただければと思っています。

編/集/後/記

今回は、長くなってしまいました、文字が多くて読みにくいと時々ご意見をいただきますが、今回はお許しください。皆様にお伝えたいことがたくさんあります。

次号では、9月議会とともに選挙中に問題提起をいただいた水量料金の課題と鷺浦のデイサービスの課題についても書きます。

また、大変恐縮ですが、宛名等の間違い、変更等がある場合には同封のハガキのコメント欄に記入の上、投函していただけると幸いです。

引き続きご指導ご支援よろしくお願い致します。